


(シラバスNo.14)

科目名	キャリア教育特論	科目コード	17P-B1	
			21P-B1	
	科目群名	専門科目 (学校教育領域)		
	Advanced Seminar on Career Education	必修/選択	選択	
		教職	小・中・高	
担当教員	大野 精一	単位数	2	

【授業概要】

小・中・高等学校における学級・クラスあるいは学校全体としてのキャリア教育のあり方について並びに個別の生徒に対するキャリアカウンセリングの理論とその実際について、実践的なスキルを学び、学校におけるキャリア教育の推進者としての知識やスキル等を身につける。特にキャリア発達に関するドナルド・スーパーやジョン・ホランド、エドガー・シャイン、サニー・ハンセン等の理論や中・高校生のキャリア発達に関する実証研究、小・中・高等学校の教育課程や特別活動・各教科・総合的な学習の時間におけるキャリア教育の実践例などを取り上げて、教職等に携わる高度の専門職業人としての高い倫理観や国際的な視野等を獲得する実践上の指針を明らかにしていく。各授業回において適宜事例を提示し、相互の問題提起や議論等を行い、理解を深めていく。授業内容等については受講者の希望等に即して重点化し実践的なスキル等にもふれるが、全体を通して授業計画にある内容等を講ずる。

【授業の到達目標】

本授業では小中高校生に対する効果的な進路指導（学校としての組織的なキャリア教育、各教員の行う個別的なキャリアカウンセリング）を行うために必要な理論及び方法を実践的に理解することを目標としている。そのためにドナルド・スーパー等の各種の理論を取り上げるとともに、校種別に進路指導を具体的に展開する方法等を身につける。

【授業の形態】

メディア授業の実施【あり】

<授業の特徴>（主に実施に◎、実施に○を付けてください）

形態	実施	具体的に実施すること
講義	○	各授業回の議論に必要な知識・情報等について講義
グループワーク・質疑	◎	受講者全員による各授業回テーマの議論
演習		
プレゼンテーション	○	各授業回で受講者による発表
制作		
その他 ()		

【授業計画】

回	内 容
1	イントロダクション
2	キャリア教育やキャリアカウンセリングの基礎
3	キャリア教育やキャリアカウンセリングの理論の概説
4	ドナルド・スーパーの考え方とキャリア教育実践上の視点
5	ジョン・ホランドの考え方とキャリア教育実践上の視点
6	ジョン・クランボルトの考え方とキャリア教育実践上の視点
7	エドガー・シャインの考え方とキャリア教育実践上の視点
8	ナンシー・シュロスバーグの考え方とキャリア教育実践上の視点
9	サニー・ハンセンの考え方とキャリア教育実践上の視点
10	キャリア教育やキャリアカウンセリングの方法

11	キャリア教育やキャリアカウンセリングの進め方
12	小中学校におけるキャリア教育
13	高等学校におけるキャリア教育
14	キャリアカウンセリングの実際
15	キャリア教育の実際
試験	
【履修上にあたっての準備】 授業内容に関わる受講者自身の体験・経験について整理しておくこと。	
【授業外学修（予習・復習）】 各授業回に関するテキストの当該箇所を精読し、各受講生に指定された課題発表の準備をすること。各授業回の発表等につき各受講生の課題発表や課題レポート作成等の資料等としてまとめておくこと。	
【評価方法】 試験（50%）、課題発表とそのまとめの提出（30%）、受講態度（質疑応答等の積極性など）（20%）で判定する。	
【教科書】 児美川孝一郎（2007）『権利としてのキャリア教育』明石書店 大野精一作成・授業用資料集（PDF 版配付）	
【参考図書】 柳井修（2001）『キャリア発達論—青年期のキャリア形成と進路指導の展開』ナカニシヤ出版 渡辺三枝子編著（2003）『キャリアの心理学』ナカニシヤ出版 その他は本授業指定の Google Drive で参考書・参考資料等につき指示する。	